

▼言葉使いのマナー基本チェック

【問題】□の中に、正しいと思うものには○を、間違っていると思うものには×をつけましょう。

敬語				
□	□	□	□	□
Q40	Q39	Q38	Q37	Q36
草野さんは、小林課長の「この件について、知っているか」の質問に対して、「知っている」と答えた。	商談で「2、3日考えさせてください」と言ったB社の岩下さんに、花田君は「ご返事をお待ちしています」と言った。	B社を初めて訪問した花田君は、担当者の岩下さんに「おしゃれなオフィスでいらっしゃいますね」と言った。	新入社員の鈴木君は、花田君に小林課長からの伝言を「そのように、小林課長がおっしゃっております」と伝えた。	新入社員の田中さんは受付で、来社したA商事の三浦さんの名前を復唱して「三浦様でございますね」と言った。

【解答と解説】

敬語				
○	×	×	×	×
A40	A39	A38	A37	A36
「知っています」は「知っている」の丁寧な言い方ですから正しい使い方です。取引先や顧客、また、社内の役員や部長など、より目上の人に対しては、謙譲語の「存じております」を使用するほうがよいでしょう。	正しくは「お返事お待ちしております」です。丁寧語は「お」と「ご」の使い分けが大切になります。原則的に訓読みの和語に「お」、音読の漢語に「ご」をつけますが、設問と同様に「お電話」、「お時間」などの例外もあります。なお、外来語、動植物、自然現象、公共物には使用しません。	「いらっしゃいますね」などの尊敬語は人に用いるもので、モノや生き物には使いません。この場合は、上品な言葉使いで、物事全般に用いる丁寧語を使用します。正しくは「おしゃれなオフィスです」です。	「おります」は「いる」の謙譲語で、謙譲語を相手の動作に使ったよくある誤用です。謙譲語は自分のことをへりくだって言うために、自分の動作・状態に用いるものです。正しくは「そのように、小林課長がおっしゃっています」です。	この場合は、相手のことを敬う表現方法で、相手の動作・状態に用いる尊敬語を使用しなければなりません。しかし、「ございます」は「あります」の丁寧語で、謙譲表現として用いる場合はありますが、尊敬語としては使用しません。正しくは「三浦様でいらっしゃいますね」です。

- ・相手に対する自分の動作：お礼、ご訪問
- ②慣用的に用いるもの
  - ・お金、お酒、おはようございます、ごはん、ごちそう、ご覧になる
- ③「お」と「ご」の原則的なつけ方
  - ・「お」は訓読みの和語につける：お体、お手紙
  - ・「ご」は音読みの漢語につける：ご在宅、ご回答
  - ・例外：お電話、お返事、お時間、お天気
- ④「お」や「ご」をつけないもの
  - ・公共物：学校、公民館、電車
  - ・動植物：犬、猫、ハト
  - ・外来語：チーズ、バター、トイレ、コーヒー
  - ・「あ」や「お」ではじまる言葉：頭、足、応接間
  - ・自然現象：地震、雷、雨、風、雪

よく使う尊敬語一覧

基本語	尊敬語	謙讓語	丁寧語
言う	言われる、おっしゃる	申す、申し上げる	言います
聞く	聞かれる、お聞きになる	伺う、お聞きする 承る、拝聴する	聞きます
行く	行かれる、いらっしゃる	伺う、参る 参上する、上がる	行きます
来る	来られる、いらっしゃる	伺う、参る 参上する、上がる	来ます
帰る	帰られる、お帰りになる	失礼する	帰ります
見る	見られる、ご覧になる	拝見する	見ます
する	される、なさる	いたす	します
いる	いらっしゃる、おいでになる	おる	います
食べる	召し上がる	いただく、頂戴する	食べます
会う	会われる、お会いになる	お会いする、お目にかかる	会います
持っていく	お持ちになる	持参する	持っていきます
もらう	お受け取りになる お納めになる	いただく、頂戴する	もらいます
借りる	借りられる、お借りになる	拝借する	借ります